

2015年以前製造のモジュラーテッドモード式 インターフェース/受信機におけるスイッチ設定 および通信範囲の調整



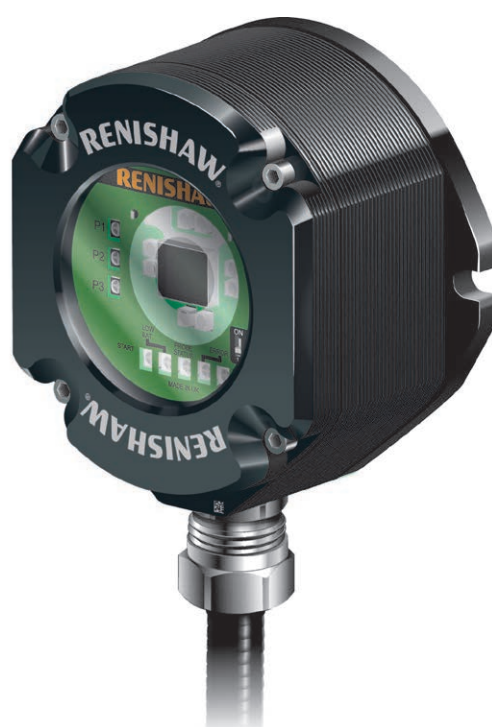
OMI-2



OMI-2T



OMI-2H



OMM-2

安全について

インターフェース/受信機の作業を始める前に必ず、工作機械への主電源を切ってください。

装置の取り外しは、必ず有資格者が行うようにしてください。無資格者の作業による不具合は、保証期間内であっても保証対象外になります。

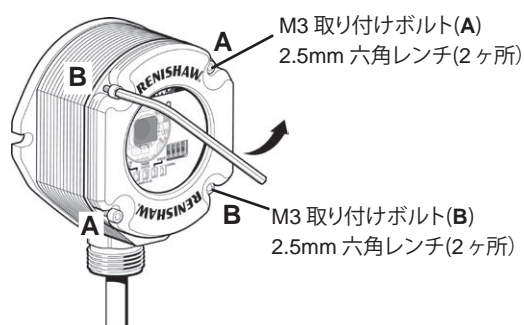
インターフェース/受信機は常にきれいに保ってください。いかなる液体やゴミもインターフェース/受信機の本体に入らないように注意してください。

インターフェース/受信機ウィンドウの取り外し

スイッチの設定や交換部品の組み付けの際、インターフェース/受信機を工作機械本体から取り外す必要はありません。

受信レンジ設定または送信レンジ設定を変更する場合には、ウィンドウの取り外しや交換をしても問題ありませんが、必ず以降のページに記載の方法に従ってください。

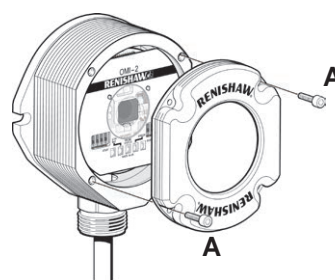
OMI-2 の場合



注意: ウィンドウを外す際、ねじったり回したりしないでください。

1. 内部にゴミが入らないようにインターフェース/受信機を清掃します。
2. 2.5mm の六角レンチを使用して4本のカバー取り付けボルトを外します。ボルトは短いものを2本、長いものを2本使用しています。カバー取り付け穴の2つはタップ穴 **A**、もう2つは通し穴 **B** です。
3. ウィンドウは、インターフェース/受信機本体に固くはまっているので、タップ穴 **A** に2本の長いボルトをねじ込んで取り外します。

OMI-2 の場合

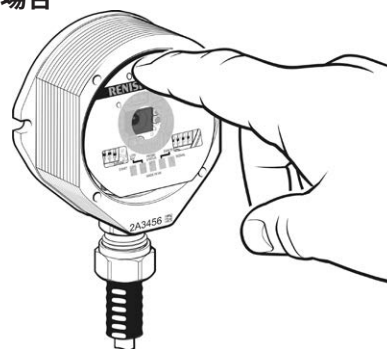


4. ウィンドウが均等に持ち上がるように、各ボルトを同時に少しずつ締めます。
5. ボディとウィンドウが分離できたら、ウィンドウからボルトを完全に取り外します。

インターフェース/受信機ラベルの取り外し

1. ラベルの上部を押して取り外します。

OMI-2 の場合



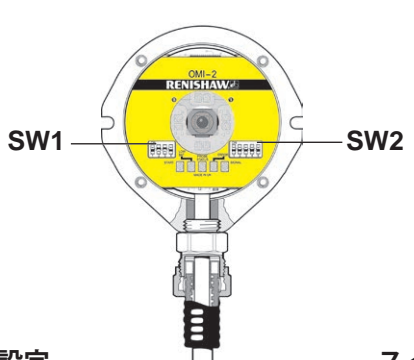
注: 作業中は、本体およびその内部を汚さないように注意してください。また、ラベルの下にあるプリント基板には触れないようにしてください。

スイッチ設定 (詳細については、該当するインストレーションガイドを参照してください)

OMI-2

図示の出荷時設定は以下の製品に対するものです。
A-5191-0049
A-5191-0050

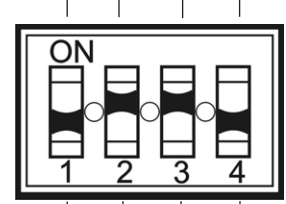
略語の意味は次の通りです。
N/O = ノーマル・オープン
N/C = ノーマル・クローズ
N/H = ノーマル・ハイ
N/L = ノーマル・ロー



注:スイッチを操作するには、ウィンドウを取り外す必要があります(「インターフェース/受信機ウィンドウの取り外し」を参照してください)。

スイッチ SW1 出力設定

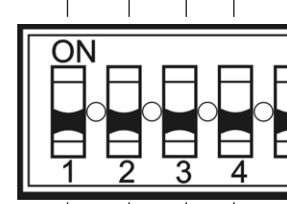
プローブ	ロー		
ステータス 1	バッテリー	エラー	
パルス	N/O	N/O	N/O



レベル	N/C	N/C	N/C
-----	-----	-----	-----

スイッチ SW2 出力設定

プローブ	マシン		送信
ステータス 2a/2b	スタート	送信	レンジ
パルス	N/H	レベル	オート
			50%



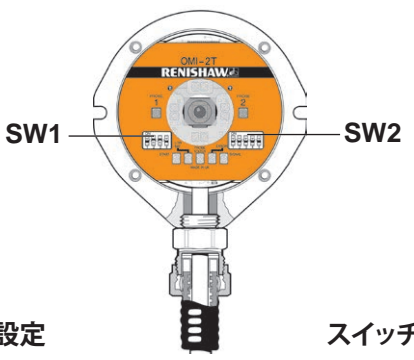
レベル	N/L	パルス	マシン	100%
-----	-----	-----	-----	------

↑ ON

OMI-2T

図示の出荷時設定は以下の製品に対するものです。
A-5439-0049
A-5439-0050

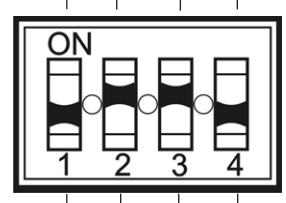
略語の意味は次の通りです。
N/O = ノーマル・オープン
N/C = ノーマル・クローズ
N/H = ノーマル・ハイ
N/L = ノーマル・ロー



注:スイッチを操作するには、ウィンドウを取り外す必要があります(「インターフェース/受信機ウィンドウの取り外し」を参照してください)。

スイッチ SW1 出力設定

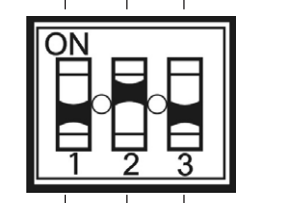
プローブ	ロー		
ステータス 1	バッテリー	エラー	
パルス	N/O	N/O	N/O



レベル	N/C	N/C	N/C
-----	-----	-----	-----

スイッチ SW2 出力設定

プローブ	送信レンジ	
ステータス 2		
パルス	N/O	50%

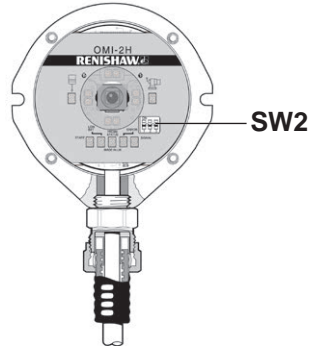


レベル	N/C	100%
-----	-----	------

↑ ON

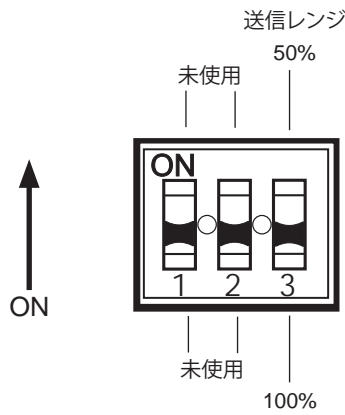
スイッチ設定 (詳細については、該当するインストレーションガイドを参照してください)

OMI-2H



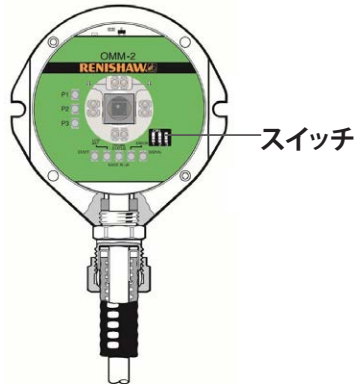
注:スイッチを操作するには、ウィンドウを取り外す必要があります(「インターフェース/受信機ウィンドウの取り外し」を参照してください)。

スイッチ SW2 出力設定



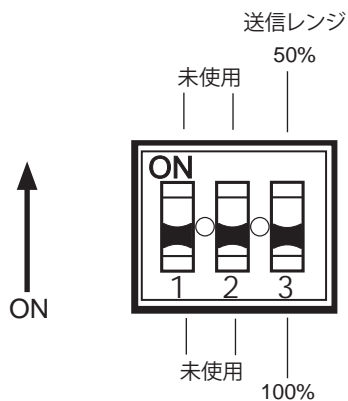
OMM-2

図示の出荷時設定は以下の製品に対するものです。
A-5492-0049
A-5492-0050
A-5492-0051



注:スイッチを操作するには、ウィンドウを取り外す必要があります(「インターフェース/受信機ウィンドウの取り外し」を参照してください)。

スイッチ出力設定



受信レンジの変更 (出荷時設定は 100% 受信レンジです)

OMI-2 の場合

フィルター部には触らないでください

100% 受信レンジ

フィルター部には触らないでください

50% 受信レンジ

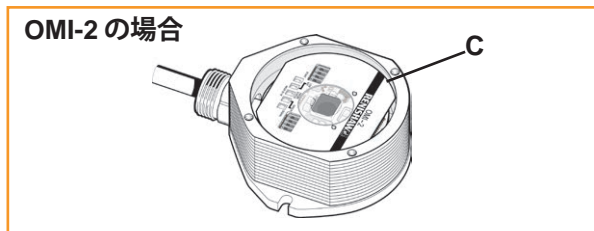
注:
受信レンジを 50% に落とすには、フィルターを図示の位置へ動かしてください。
フィルター部には触らないでください。

インターフェース/受信機ラベルの再取り付け

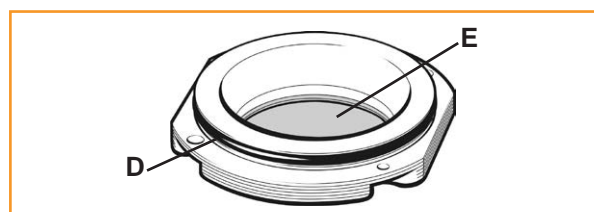
2本の位置決めピンに合わせてラベルを置いてください。その際、中央の透明部分に触れないように注意してください。

インターフェース/受信機ウィンドウの取り付け

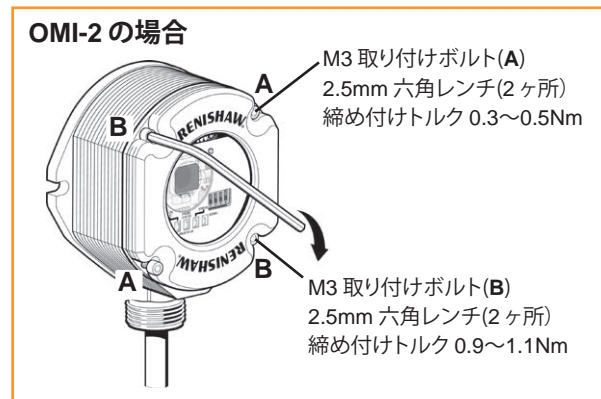
1. ウィンドウを取り付ける前に、ネジ部の損傷やシール効果を損なうような引っかき傷が無いか確認します。
2. インターフェース/受信機本体のインターフェース/受信機の接触面 **C** にゴミ等が付着していないか確認します。



3. Oリング **D** およびウィンドウ **E** が汚れていないか確認します。



4. 2本の短いボルトをウィンドウの穴 **A** に入れ、締めます。



5. Oリングを付けたウィンドウを、インターフェース/受信機本体の上に置きます。

注:Oリングには、グリスを薄く塗布してください。

6. 長い方のボルトを **B** の穴に挿入し、各ボルトを交互に少しずつ締めウィンドウを均等に押し込みます。本体内に閉じ込められた空気が圧縮されることにより、いくらか抵抗がある可能性があります。

レニショー株式会社
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-29-8
レニショービル
T 035-366-5316
F 035-366-5320

名古屋支社
〒461-0005
愛知県名古屋市東区東桜1-4-3
大信ビル
T 052-961-9511
F 052-961-9514

E japan@renishaw.com
www.renishaw.jp

RENISHAW 
apply innovation™

世界各国でのレニショーネットワークについては、Web サイトをご覧ください。
www.renishaw.jp/contact



H-2000-4151-01